

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和5年 月 日

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス㈱	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進PR活動として、時刻表・路線図の配布を継続実施した。 ・キャッシュレス決済、スマホアプリで経路検索のサービス提供を引き続き実施した。 ・停留所看板に、英語表記を追加し、老朽化したものから順次交換を実施。 ・令和6年度からの運行開始に向けた、具体的な市内路線バスの再編の検討に着手した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。計画に位置付けられた目標42人/日に対し、実績46人/日。 ・コロナウイルスが5類相当に引き下げられたことにより、市民の外出の機会が増えたことと、観光客の利用などで、前年と比べて回復傾向にある。 	利用促進のためのPR活動並びに低床バス車両の導入や待合環境の整備等の利便性の向上を図ることで利用者増加を目指した見直しを進め、引き続き検証と検討を行うと共に、その実施について、地域一体となって適切に進めて行く。また、協議会で検討した路線バス再編に係る運行を令和6年10月より実施する。
	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民の利用促進を啓発するため、市報への掲載及びチラシ等の配布を実施した。 ・学割半額制度の継続実施による利用促進を図った。 ・令和6年度からの運行開始に向けた、具体的な市内路線バスの再編の検討に着手した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。計画に位置付けられた目標12人/日に対し、実績9人/日。 ・コロナウイルスが5類相当に引き下げられたことにより、市民の外出の機会が増えたが、コロナ禍以前の利用には戻っていない。 	利用促進のための市報・HP等による利用の呼びかけと、学割半額制度の周知を行い、引き続き検証と検討を行うとともに、その実施について、地域一体となって適切に進めていく。また、協議会で検討した路線バス再編に係る運行を令和6年10月より実施する。
	村上～馬下～寒川線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進PR活動として、時刻表・路線図の配布を継続実施した。 ・キャッシュレス決済、スマホアプリで経路検索のサービス提供を引き続き実施している。 ・停留所看板に、英語表記を追加し、老朽化したものから順次交換を実施。 ・利用者の利便性向上、運行経費削減及び温室効果ガス排出量削減を目指し、老朽化したバス車両の入れ替えを行う予定。 ・令和6年度からの運行開始に向けた、具体的な市内路線バスの再編の検討に着手した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。計画に位置付けられた目標20人/日に対し、実績16人/日。 ・コロナウイルスが5類相当に引き下げられたことにより、市民の外出の機会が増えたことと、観光客の利用などはあったが、コロナ禍以前の利用には戻っていない。 	利用促進のためのPR活動並びに環境に配慮した低床バス(EV)車両の導入や待合環境の整備等の利便性の向上を図ることで利用者増加を目指した見直しを進め、引き続き検証と検討を行うと共に、その実施について、地域一体となって適切に進めて行く。
	村上市せなみ巡回バス	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民の利用促進を啓発するため、市報への掲載及びチラシ等の配布を実施した。 ・学割半額制度の継続実施による利用促進を図った。 ・令和6年度からの運行開始に向けた、具体的な市内路線バスの再編の検討に着手した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。計画に位置付けられた目標30人/日に対し、実績33人/日。 ・コロナウイルスが5類相当に引き下げられたことにより、市民の外出の機会が増えたことなどで、前年と比べて回復傾向にある。 	利用促進のための市報・HP等による利用の呼びかけと、学割半額制度の周知を行い、引き続き検証と検討を行うとともに、その実施について、地域一体となって適切に進めていく。また、協議会で検討した路線バス再編に係る運行を令和6年10月より実施する。
	村上～猿沢～北中線	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民の利用促進を啓発するため、市報への掲載及びチラシ等の配布を実施した。 ・学割半額制度の継続実施による利用促進を図った。 ・令和6年度からの運行開始に向けた、具体的な市内路線バスの再編の検討に着手した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。計画に位置付けられた目標30人/日に対し、実績33人/日。 ・コロナウイルスが5類相当に引き下げられたことにより、市民の外出の機会が増えたことなどで、前年と比べて回復傾向にある。 	利用促進のための市報・HP等による利用の呼びかけと、学割半額制度の周知を行い、引き続き検証と検討を行うとともに、その実施について、地域一体となって適切に進めていく。また、協議会で検討した路線バス再編に係る運行を令和6年10月より実施する。